

# 長崎市こども相談センターだより 第2号

## 和顔愛語

(わげんあいご)

【穏やかな笑顔と思いやりのある  
話し方で人に接すること】

令和7年8月発行



長崎市魚の町4番1号 (こどもみらい課内 電話: 825-1949)

こども相談センター相談専用ダイヤル: 829-1122

Eメール [kodomosoudan\\_center@city.nagasaki.lg.jp](mailto:kodomosoudan_center@city.nagasaki.lg.jp) 愛の一声運動

## 少年補導委員の資質向上を目指す地区別研修会

長崎市少年補導委員協議会では、少年補導委員の資質向上や子どもたちを取り巻く環境についての理解を深めることを目的として、研修会を定期的に行ってています。夏に行われる地区別研修会の実施に向けて、内容決定や役割分担などを確認する地区別幹事会が、6月～7月にかけて各地区で行われました。地区別幹事会では、次年度の少年補導委員改選に向けての情報交換なども行われました。

地区別研修会では、地域内の学校から校長先生や教頭先生などの管理職に参加をお願いして学校の現状についての情報交換を行ったり、子どもたちの非行防止に携わっていらっしゃる関係機関の方を講師に招聘して講演会を計画したりするなど、地区ごとにさまざまな内容の研修会を予定しています。



↑講師との打ち合わせ



↑地区別幹事会の様子↓



### 【7年度こども相談センター職員】

大変遅くなりましたが、前号で紹介できなかった令和7年度長崎市こども相談センター職員は次のとおりです。4月の人事異動で久保課長と池田指導主事が、7月の人事異動で尾崎社会福祉士が、それぞれ前任者に代わって着任しました。

どうぞ、よろしくお願いします。

### 長崎市こども相談センター職員

長崎市こども部長	山本 勉
長崎市こどもみらい課長	★久保大輔
こども相談センター所長	川口邦春
〃 係長(兼任)	平尾和也
〃 指導主事	★池田功一
〃 臨床心理士	堀江雅子
〃 社会福祉士	★尾崎美沙
〃 少年補導相談員	山鹿義弘
〃 少年補導相談員	松本直道

★印は新しく着任した職員

4月までの声かけ報告数集計

4月～6月総計	小学生	中学生	高校生	その他	合計
1 飲酒	0	0	0	0	0
2 喫煙	0	0	0	0	0
①交通違反	2	0	2	0	4
③危険な遊び	0	0	0	0	0
④外出時間注意	12	0	20	0	32
⑥買い物食い	0	0	0	0	0
⑦盛場徘徊	0	0	0	0	0
⑧ゲームセンター	8	1	13	4	26
⑨男女交際	0	0	0	0	0
⑩『愛の一声』	1027	331	100	12	1470
合計	1049	332	135	16	1532



## 夏季特別補導

本年度も各校区の計画で『夏季特別補導』を実施しています。7月26日(土)には『ながさきみなとまつり特別補導』を実施し、9校区の少年補導委員約30名が活動しました。各地区的夏祭りでも赤い帽子とオレンジのベストを着用して“見せる補導活動”を実践しています。ご参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。



## 一定の役割を終えた～有害図書類回収白ポスト～

環境浄化の一環として、少年センター時代から行ってきた『白ポスト』による有害図書類の回収作業でしたが、回収数の減少や有害図書類以外のゴミなどの投入が目立つ実態を鑑み、回収作業と並行して昨年度から順次、白ポストの封鎖を行ってきました。このたび6月の回収作業をもってすべての白ポストの封鎖を完了しました。白ポストの中身を回収後、ポストの入口を段ボールやガムテープを使って封鎖しています。



に封ポ別し鎖スのてしト場ある投同に←入じ設でよきなにいよい口るうを白

このような決断に至った背景としては、子どもたちを取り巻く状況の変化やネット環境の充実などにより、子どもたちが有害図書類を手にする機会が減少してきていることに加え、環境浄化の目的とは思えないようなレンタル商品の大量投棄や白ポスト回収対象物ではないタバコの吸殻（火が点いたまま投入された形跡があるものも…）、食料品の容器や包み紙などのごみ類、パンフレットや文庫本などが投入されていたことなどがあります。

これまで、イオン東長崎（橘・東長崎・日見校区の少年補導委員の皆さん）、ローソン昭和町（西浦上中校区少年補導委員の宮瀬さま）、ジョイフルサン江川（土井首中校区育成協の陣内さま）の3か所についてはボランティアで回収や管理にご尽力いただきました。ご協力ありがとうございました。

なお、封鎖した白ポストについては、こども相談センターから県こども未来課に依頼し、順次撤去していく予定です。



↑本来の目的とはかけ離れたものも入っている回収物



市内を走るクスノキ電車



『編集後記』 あっという間に梅雨が終わり、毎日、猛暑が続いている。子どもたちも夏休みに入り、今が一番楽しい時期なのではないでしょうか。気持ちが緩みがちなこのような時期に『愛の一聲運動』にご協力いただいている少年補導委員の皆さんに心から感謝申し上げます。（山鹿）

